

算数の答え

5月18日

① 予想 ㊶の直方体のほうが、横はばが広いので大きそうだ。

展開図のますを数えると㊵の立方体が2ます多いので、大きいのではないか。

たて、横、高さの3つの辺の長さをたすと和が同じなので、同じ大きさだと思う。

自分なりに予想した理由が書けているといいですね！

5月19日

① 例) 展開図の面積を計算すると、㊶は 94cm^2 で、㊵は 96cm^2 だった。面積が大きいということは、かさも大きいと思うので、㊵の立方体大きい。

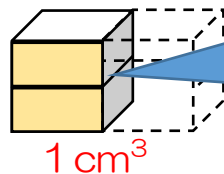
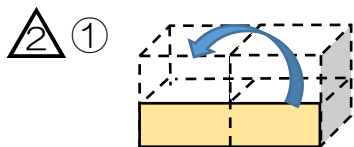
1辺が1cmの立方体が何個分あるのかでくらべると、㊶は60個入り、㊵は64個入る。㊵の立方体のほうが1cmの立方体4つつだけ大きい。

② もののかさのことを、体積という。

水のかさはリットル(L)やデシリットル(dL)、ミリリットル(mL)で表しました！

この単元では、1立方センチメートルをもとにする表し方を使います。

③ ㊶ 60cm^3 ㊵ 64cm^3 ㊵のほうが 4cm^3 大きい。



立方体の半分になっている直方体を重ねると、立方体が1つ完成しますね。
②も同様です。

② 1cm^3

5月20日

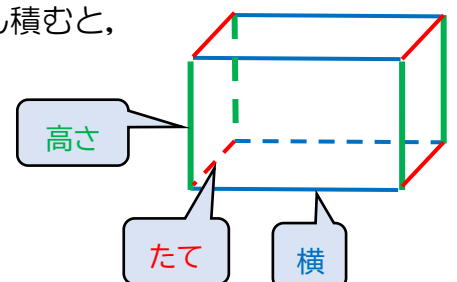
② まず、1だんめにならぶ 1cm^3 の立方体を考えます。㊶の直方体は、たてに4個、横に5個ならぶので、 $(4 \times 5 = 20)$ 20個の立方体が1だんめにならびます。

次に、高さが3cmなので3だん積みます。20個を3だん積むと、

$(20 \times 3 = 60)$ 60個の立方体にならびます。

よって、 $4 \times 5 \times 3 = 60$ という式になり、

直方体の体積はたて×横×高さで求めることができます。



5月21日

① $\triangle 3$ ① $6 \times 7 \times 5 = 210$ 答え 210cm^3

② $8 \times 8 \times 8 = 512$ 答え 512cm^3

③ $4 \times 6 \times 4 = 96$ 答え 96cm^3

④ $1\text{m} = 100\text{cm}$

$100 \times 40 \times 10 = 40000$ 答え 40000cm^3

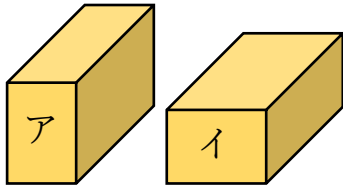
$\triangle 4$ $3 \times 5 \times 2 = 30$ 答え 30cm^3

128°-ヅの工の答えは、140°-ヅにあります。

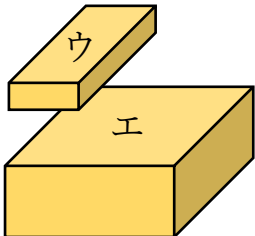
5月22日

式と答えを書いて終わらずに、考え方を説明してみましょう。

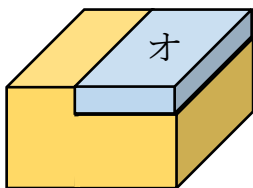
①



たてに分けて考えると、アの直方体の体積は、 $(8 \times 4 \times 6 = 192)$ 192cm^3 、イの直方体の体積は $(8 \times 5 \times 4 = 160)$ 160cm^3 となる。アとイの体積の和は、 $(192 + 160 = 352)$ 352cm^3 である。



横に分けて考えると、ウの直方体の体積は、 $(8 \times 4 \times 2 = 64)$ 64cm^3 、エの直方体の体積は $(8 \times 9 \times 4 = 288)$ 288cm^3 となる。ウとエの体積の和は、 $(64 + 288 = 352)$ 352cm^3 である。



かけているオの部分だけをたして考えると、直方体の全体の体積は $(8 \times 9 \times 6 = 432)$ 432cm^3 、オの直方体の体積は、 $(8 \times 5 \times 2 = 80)$ 80cm^3 、となる。全体からオの体積を引くと、 $(432 - 80 = 352)$ 352cm^3 である。

教科書の3人の考えで共通していることは、**直方体や立方体の形をもとにして考える**ということですね！

④ $\triangle 5$ 横に分けて考えると、 $7 \times 10 \times 3 + (14 - 7) \times 4 \times 3 = 294$

たてに分けて考えると、 $7 \times (10 - 4) \times 3 + 14 \times 4 \times 3 = 294$

全体からかけた部分を引くと、 $14 \times 10 \times 3 - (14 - 7) \times (10 - 4) \times 3 = 294$

答え 294cm^3